

りょういき いりようてき
＜領域：医療的ケア＞

いりようてき
医療的ケア

もんだい つぎ きじゆつ せいじん たい きゅうきゅうそせいほう きょうこつあっぱく ほうほう
問題 59 次の記述のうち、成人に対する救急蘇生法での胸骨圧迫の方法として、

もっと てきせつ えら
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 呼吸が確認できない場合は、すぐに圧迫を始める。
こきゅう かくにん ばあい あっぱく はじ
- 2 圧迫する部位は、胸骨の左側である。
あっぱく ぶ い きょうこつ ひだりがわ
- 3 実施者の両手を重ねて、指先で圧迫する。
じっししゃ りょうて かさ ゆびさき あっぱく
- 4 圧迫の深さは、胸が10 cm 沈むようにする。
あっぱく ふか むね しず
- 5 1 分間に60 回を目安に圧迫する。
ぶんかん かい めやす あっぱく

もんだい つぎ きじゆつ たん かくしゆつ し く かん ただ
問題 60 次の記述のうち、痰を喀出する仕組みに関するものとして、正しいものを1つ選びなさい。
えら

- 1 呼吸器官の内部は乾燥した状態になっている。
こきゅうきかん ないぶ かんそう じょうたい
- 2 気管の内部の表面には絨毛があり、分泌物の侵入を防いでいる。
きかん ないぶ ひょうめん じゅうもう ぶんびつぷつ しんにゅう ふせ
- 3 分泌物は、咽頭で吸収される。
ぶんびつぷつ いんとう きゅうしゅう
- 4 痰は、咳や咳払いによって排出される。
たん せき せきばら はいしゅう
- 5 咳は、下垂体にある咳中枢によっておこる反射運動である。
せき かすいたい せきちゅうすう はんしゃうんどう

もんだい つぎ きじゆつ かい ご ふ く し し おこな こうくうない かくたんきゅういん ほうほう
問題 61 次の記述のうち、介護福祉士が行う口腔内の喀痰吸引の方法として、
もっと てきせつ えら
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 吸引圧は、利用者の体調によって介護福祉士が決める。
きゅういんあつ りようしゃ たいちょう かい ご ふ く し し き
- 2 吸引圧をかけた状態で、吸引チューブを挿入する。
きゅういんあつ じょうたい きゅういん そうにゅう
- 3 口蓋垂まで吸引チューブを挿入する。
こうがいすい きゅういん そうにゅう
- 4 吸引チューブを回転させながら痰を吸引する。
きゅういん かいてん たん きゅういん
- 5 吸引後は洗浄水を吸引し、清浄綿でチューブを拭く。
きゅういんご せんじょうすい きゅういん せいじょうめん ふ

もんだい つぎ きじゆつ しょうかきしょうじょう せつめい ただ えら
問題 62 次の記述のうち、消化器症状の説明として、正しいものを1つ選びなさい。
い。

- 1 腹部膨満感は、腹部が張る感覚のことである。
ふくぶぼうまんかん ふくぶ は かんかく
- 2 しゃっくり(吃逆)は、胸膜の刺激で起こる現象である。
きつぎやく きょうまく しげき お げんしょう
- 3 胸やけは、飲食物による食道の熱傷のことである。
むね いんしょくぶつ しょくどう ねっしょう
- 4 げっぷ(嗳気)は、咽頭にたまった空気が排出されることである。
あいき いんとう くうき はいしゅつ
- 5 嘔気は、胃や腸の内容物が、食道を逆流して口外に吐き出されることである。
おうき い ちょう ないようぶつ しょくどう ぎやくりゅう こうがい は だ

問題 63 Aさん(80歳, 女性)は, 脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で左片麻痺があり, 介護老人保健施設に入所して在宅復帰に向けた訓練をしている。嚥下障害もあるため, 経鼻経管栄養による栄養摂取をしているが, 経口摂取できないことでイライラしてチューブを抜去したことがある。医師からは一時的な治療であると説明を受けて同意していた。

経管栄養中に介護福祉士が訪室すると, チューブを触りながら, 「自分の口から食べたいから, このチューブを抜いてほしい。見た目も良くない」と訴えがあった。看護師に連絡し, チューブが抜けていないことを確認してもらった。

このときのAさんへの介護福祉士の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 チューブを抜かないようにAさんの右手を固定する。
- 2 経管栄養が早く終わるように滴下速度を調節する。
- 3 医師や看護師にAさんの思いを伝える。
- 4 Aさんに胃ろうの造設を提案する。
- 5 Aさんに経口摂取を提案する。